



## YUI

新潟県出身。

2010年講談社発行「別冊少年マガジン」10月号から連載となった『ネギほ（幼）文』（原作：赤松健）で作画を担当。

2012年同社発行の「月刊少年シリウス」6月号より『生徒会探偵キリカ』（原作：杉井光）を連載。

### ■何が役に立つかは分からないので、日常の色々なことをマンガに活かしている

——マンガ家を目指すようになったきっかけを教えてください。

保育園の頃、みんなで飼っていたハムスターを絵に描き始め、自分のキャラクターにしていったのがきっかけだったと思います。

——初めて描いた作品はどのような作品でしたか？

小学生の頃、ノートにオリジナルや既存のキャラクターが登場する漫画を描きました。なんだか夢のような漫画になりました。

——一番影響を受けた、または印象に残っている作品を教えてください。

どれが一番というのはないですが、ガンダムのコミカライズなどに影響をうけていました。

——日常生活の中でマンガに活かしている事をお聞かせ下さい。

よろず...という感じでしょうか。漠然としていますが、意外と何が役に立つかは分からないものなので。

——YUI先生が楽しみにしていられる事や趣味を教えてください。

色々変わったりしますが、サイやトランプなどを使ってオリジナルゲームを作ったりしています。

——作品を作るにあたって、最も気を付けていることは何ですか？

まだまだ未熟ですが、分かりやすさなどを心掛けたいです。

### ■原作小説での一文をどうふくらませて表現するか

——現在「月刊少年シリウス」で連載中の「生徒会探偵キリカ」ですが、小説版のコミカライズを担当する事が決まった時の感想を教えてください。

叫びました...すいません。とてもうれしかったです。

—— コミカライズをする際に、原作者の杉井光先生やキャラクター原案のぽんかん⑧先生と打合せは行いますか？ また、演出のために脚色などを行う事はありますか。

事前の打ち合わせはしていません。ネームを切った後、杉井先生とそのご担当者には目は通していただきます。脚色はしていますが、たいていそのまま OK をいただいています。

—— 小説を原作とした作品をマンガとして描く際に、工夫している事があれば教えてください。

やはり文章と絵は表現方法が違うので、原作小説での短い一文をどうふくらませて表現するかを重視しています。自分自身、楽しみながら描きたいですね。



© 杉井光・ぽんかん⑧・YUI / 講談社

—— マンガ版「生徒会探偵キリカ」の見どころを教えてください。

漫画として見やすいこと、そして原作で描かれていない一面を盛り込んでいきたいと考えていますので、その点を見どころに出来ればと思っています。

## ■自分にとってどれほどマンガが大切か、自分に問いかけてみてください

—— YUI 先生が作家活動続ける上で、大切にしている事をお聞かせ下さい。

キャラクターが物語のためにあるのではなく、キャラクターのためにある物語を描きたいです。

—— これからマンガ家を目指す方へのアドバイスをお聞かせ下さい。

偉そうなことを言える立場ではありませんが、自分にとってどれほど漫画が大切かを偽らず自分に問いかけてみてください。それが、何があっても捨てきれないものなら...あなたはきっと、ここに来ます。

—— 最後に読者へのメッセージをお願いします。

ほんの少しでも、心の中に残るような漫画を描いていきたいと思っていますので、どうぞお付き合いください。